

+幸せを探すあなたへ



## 幸せへの招待

### かくされた真実な告白

「私は今、どうであっても、ハンナム大橋の夜景が見える高級マンションに落ち着いて、あなたに手紙を書いているので、成功したといえるでしょう。あの時に夢見たその場に... それなら、ものすごく幸せなはずでしょう。ところが、私は今、幸せどころかとても悲しいのです。とても素敵なハンガンの橋の夜景をながめながらも悲しくて、私の子どもたちの顔を見ながらも悲しい。この感情がいやで飛び出し、流れにまかせて人に会う...そのせいなのか分からないけれど、むなしくて」(故、チェ・ジンシルの手紙の中から)「私は一人の女性が持てる全てのものを手に入れました。私は若くて美しいです。私はお金も多くて、愛に飢えることもありませんでした。数百通のファンレターも、毎日、届きます。誰よりも健康で、足りないことはありません。未来にも、そのように生きられると確信しています。ところが、どういうことでしょうか。私はあまりにも、むなしくて不幸なのです。確かな理由を探すわけにはいかないのですが、私は不幸だと感じているのです...私の人生は季節が過ぎてシャッターがおりている海水浴場と同じです...」(故マリリン・モンローの遺書の中から)

**私の幸せの優先順位** 私たちは一つの命を持って、一度だけの人生を生きていきます。それゆえ、幸せを求めて生きていくのは当然なことでしょう。ところで、あなたの人生を幸せにすると信じる優先順位は何でしょうか。この世に生きるすべての人間は、自分なりに人生の優先順位を持っています。そういう人生の優先順位は、結局、私の人生の主人と言えます。ある人は成功、物質、権力、名誉、快楽、知識、愛情が主人になって、狂ったように、それを追求しながら生きていきます。それなら、それを所有している人々は本当に幸せなのでしょうか。2004年ニューズウィークの発表を見ると「所得と不平は比例する」ということです。所得が高まるほど、でき

ることも多くなるのに、問題は、時間をこれ以上、多く作り出すことはできないということです。こういうものは、すべて目に見えることです。聖書は目に見えるものが人間に幸せをもたらすのではなく、真の幸せの根源は、目に見えないことにあると語っています。人間の幸せにおいて最も深刻な障害物は何でしょうか。それは、まさに神様を知らない不信仰とサタンの働きで、それによってくるしかない運命と地獄の問題だと語られています。私も知らない間に、私の人生において王のように振舞うサタン、その貪欲の奴隷になってお使いをさせられている限り、水を離れた魚のように、人間は幸せなことはありません。

**真の幸せは主人が変わる時に始まります** 衣食住に縛られて生きている人間は、ある面では犬より劣っています。動物はお腹がいっぱいになれば満足するのですが、霊的存在である人間は、たましいの問題が解決されなければ、決して幸せなことはありません。本来、人間は神様のかたちで、神様と交わってこそ安らぎ、満足して生きるように創造されたので、世的なことをいくら持って、満足することはできないのです。こういう人間が、サタンにだまされて神様を離れ、罪の中に陥って、罪の代価として死を迎えるようになり、願ってもいない霊的苦しみ、肉体的な痛みを受け、永遠な滅びの道に行かなければならない運命に陥るようになりました。その時から訪れてきた人間の不幸は、宗教も、倫理も、善行も、哲学も、偶像も解決することができません。むしろ、生年月日による運勢や運命に縛られて、びくともできなくなりました。この時、神様が「イエスがキリスト」という救いの道を開いてくださったのです。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」(ヨハネの福音書 3:16)イエス・キリストを信じる時、神様を離れて、サタンに捕われた原罪の問題、罪と運命の問題、地獄の問題が解決されるようになります。「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」(ヨハネの福音書 1:12)この時はじめて、人間は永遠に揺れない幸せを味わうようになるのです。

## 長老伝道企画時代 理由ある生き方

**動物には理由がない** 東亜大学の教育学博士だったパウロ・キスン教授は「教育とは人間が人間を相手にして、人間を作ることだ。神様を知っている人が神様を知らない人に行って神様を知っている人にするのが教育学で、キリスト教教育学だ」と言いました。パウロは、人間が神様に会うことができなくてもがくのが宗教であり、律法だということを知りました。それでサタンの手につかまって苦しめられる人々を生かす使命にいのちをかけるべきだという理由を発見したのでした。「私はなぜ信仰生活をするのか。重職者として、なぜ伝道企画をするべきなのか」人生の理由がないならば、動物とかわりありません。犬が餌を食べるのを見れば、理由もなくマナーもありません。与えられるまま走ってきて食べます。

**理由ある人生** 先進国は100年前よりうつ病患者が十倍も増加して、韓国国内でも320万人がうつ病で苦しめられていて、OECD国家の中で自殺率1位の国家になりました。教会もすでに純粋な福音運動よりは、数多くのプログラムに陥っていて、神学校までも福音を弱体化させるあらゆる神学でぎっしり埋まっています。その中で、韓国教会の70%が未自立教会で貧困状態に陥っていて、未信者は社会的に成功しても、未来を分からない混乱と虚しい人生に陥ります。成功した信徒もやはり、福音を正しく知らない状態で、未信者のような人生で苦しんでいます。無能と貧困という現実の障壁の前で挫折している信徒が、福音の奥義をのがしてしまっただけで、希望なく生きていっています。今がまさに霊的戦争時代、悪魔の策略を崩す伝道戦略、伝道企画が必要な時代です(エペソ6:11)。聖書を見れば、神様の重要なみわざが起きる時ごとに、重職者(長老)が先に起きたことがわかります。出エジプトする前に、長老が先にすべての民に行って「羊の血を塗りなさい」と伝えました(出3:16)。ヨルダン川を渡る時も、先につかさが「契約の箱について行きなさい」と民に伝えました(ヨシュア3:2~3)。カナンを偵察する時も、十二人の偵察する者を先に送って、重職者が正しく現場を偵察するようにさせました(民14:1~10)。ダマスコで重職者アナニヤが祈っていた時、迫害者であったパウロが砕かれました。あちこちで重職者が起きて、伝道者を集める時、偶像の現場、暗やみの現場、経済の現場、次世代と未来を生かす神様の奇跡の働きは始まります。これが私たちの重職者が立たなければならない理由です。



### 神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決して下さったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



### 神様の子どもへの五つの確信

**救いの確信**：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ8:15~16、1ヨハネ5:10~13)

**祈り答えの確信**：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ15:7)

**導きの確信**：神様は聖霊であなただけの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ14:26~27、箴言3:5~6)

**救いの確信**：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(1ヨハネ1:9、ローマ3:24)

**勝利の確信**：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ8:31~37、1ヨハネ5:4)



### 神様の子どもへの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

## 頂上で会いましょう

(See you at the Top)



**魔の 11 分** 飛行機が運航する時は、離陸後 3 分と着陸前 8 分が最も危険です。実際に、航空事故の統計を見れば、離陸(28%)、着陸(46%)と、全体航空事故の 74%が「魔の 11 分(Critical Eleven Minutes)」に発生したことが明らかになりました。しかし、反対に航空機が正常な運行軌道に上がれば、ほとんど事故が起きることはありません。山でも、道に迷った人は頂上に上がってしまえば、むしろ方向が分かるようになって道が分かるようになります。信仰も同じです。霊的な頂上に上がれば、問題がきても方向が見えて、答えも見えて、未来も見えるようになります。ヨセフは奴隷で売られてあらゆる困難にあったのですが「主がヨセフとともにおられる」という頂上に上がっていたので、むしろ成功の機会と土台になりました。何度も死の威嚇にあったダビデも「主は私の羊飼いです。私は乏しいことはありません」という霊的な頂上に上がっていたので、むしろ国と時代を生かすようになりました。パウロはテモテに「キリストの中にある恵みによって強く」という霊的頂上のメッセージを伝えました。霊的な頂上に上がれば、全てのことに勝てます。

**どこから始めなければならないのでしょうか** 今、私たちの状態や持っている力、経済力では世界福音化は不可能です。それで、私たちに最も必要なことは、神様の力を体験することです。神様がヨセフを用いられた理由は何でしょうか。パロ王は、ヨセフを見て「神の霊の宿っているこのような人を、ほかに見つけることができようか」と告白しました。モーセは 80 年ぶりにホレブ山の柴の木で神様の力を体験した後、残りの 40 年間、神様の最高の奇跡を成し遂げながら出エジプトの主演になりました。イエス様自らが約束されました。「しかし、聖霊があなたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります」この約束を認めて信じるだけで良いのです。神様の力で私の考えを変えて、私の運命を変えて、私の力を転換する特別な時間を用意して、祈りの中に入れれば良いのです。

**何を握って挑戦しなければならないのでしょうか** 旧約時代の時、預言された福音の約束(創世記 3:15、出 3:18、イザヤ 7:14)を握れば、当然、頂上に上がるようになります。イエス様が公生涯の時に見せてくださった契約(マタイ 4:19、マルコ 3:13~15、マタイ 11:28~30)を持って上げれば良いのです。世の中のうちわべを見て、起こる迫害を見て、恐れる必要はありません。神様の前に正しい内容だけをもっていけば、まちがいなく答えは起きるようになっていきます。福音はすべての信じる者に救いをくださる神様の力だからです。そして、この終わりの時代に「イエスがキリスト(使徒 1:1)、神の国(使徒 1:3)、聖霊の満ちし(使徒 1:8)」の約束を握れば 5 つの力(霊力、知力、体力、経済力、人材)が与えられます。この中で神様の子どもたちの祝福と、未信者状態に勝つ権威を持って世の中に出て行く時、頂上に上がって世界を生かす福音の力を味わうようになります。この時、過去は私たちの土台になり、今日、神様がくださる霊的な力を受けるようになって、未来に必ず成就する必要なことを握るようになります。今日、神様の力を体験しなければなりません。私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。『義人は信仰によって生きる』と書いてあるとおりです(ローマ 1:16~17) 説教\_柳光洙牧師、整理\_チャ・ドンホ牧師

## 毎日毎日の森の泉

### 6日(月)

福音の中にある私のものを見つけなさい!

(イコリント 2:1~12)

神様がくださる真の力が私にあれば、他の人を配慮して次世代に伝えることができます。その力がまさに神様の子どもにくださった 7 つの祝福です。ここから出る霊力、知力、体力、経済力、人材と、権威を持って世の中に出て行かなければなりません。

### 7日(火)

失われた殉教精神(使徒 7:54~60)

いのちをかけるほどの価値、いのちをかけるだけのこと、いのちをかけるほどの答えを発見した人には、時代的な働きと唯一性の答えと空前絶後の答えがくるようになります。私たちはこの時代にステパノが持った殉教精神を持って祈りに集中しながら挑戦しなければなりません。

### 8日(水)

霊的な状態を変えなさい!(ガラテヤ 2:20)

誰が主人かにしたがって人生は完全に違います。すべての問題の解決者であるイエス・キリストが主人になって、いつもキリストを見上げて、キリストのなかで答えを捜し出したら、時代を変えるほどの永遠な答えと働きが起きるようになります。

### 9日(木)

天国の武器を使用しなさい!(使徒 27:1~11)

神様の子どもが祈りという武器を使えるならば、まちがいなく世界を生かす答えを握って、勝利するようになります。祈りは神様から新しい力を与えられ、専門性と唯一性の祝福が臨む奥義で、暗やみに勝つ最高の武器です。

### 10日(金)

私をどこで見つけるべきでしょうか

(詩 1:1~6)

普段の時、生活の中で神様と対話する時間を持つ時、私を発見するようになります。そして、私の家庭、教会、世の中の環境の前で、信仰を持って挑戦する時、重要な答えを得るようになります。そして、その信仰の記録を残すのが私たちの信仰の足跡です。

### 11日(土)

何によって私を見つけるべきでしょうか

(詩 23:1~6)

人生の全てのことを祈りにつなげることを、24 時祈りと言います。私たちは 24 時祈りの中でインマヌエル、7 つの祝福を味わって、成功者の規律と絵、勉強、専門性、仕事に挑戦しながら、問題の中で答えを、葛藤を更新の機会に作っていかねばなりません。

## 週間メッセージ

産業宣教 政治と教会(ローマ 16:23)

伝道学 エリートに向かった習慣  
(テモテ 3:14~17)

核心訓練 専門の働きとキャンプ  
(使徒 18:1~4)

聖日 1 部 モーセの祈り(出 3:7~22)

聖日 2 部 福音の力を求めなさい  
(ローマ 1:14~17)



イラスト・スレギ

## 神様を 探していますか

普段には深く考えられないこともあるが、人は動物とは違って、永遠を考える特別な存在だ。ある瞬間に「ひょっとして神様がおられるならば」という考えに留まるようになれば、私たちは簡単に宗教を考えるようになる。地球上の数多くの宗教は神をまつ。それなら、はたしてどの神が、本当の神なのか。インドに行ったある方が、あるインド人の家を訪問したが、ヒンズー教のシバ神と仏教のブッダ、そして、キリスト教のイエスと儒教の孔子の写真を門の上に並べてつるしてあったということだ。なぜこのようにいろいろな神をまつておいたのかと尋ねたところ、四人ともみな人類のために努めた偉大な方なので、自分の問題をその中の誰かは解決できるのではないかと話したということだ。誰か宗教の価値を明らかにして、各自が崇める神の事実の有無を正確に明らかにできたら良いが、実際には、この問題は非常に深刻であるように思われる。

すべての宗教は人のためのもので、必要を求める人に助けを与える良いことだ。たましいを持った人間に真の道になっていのちをあたえる解決者を探すのは、人間が要求できる幸せ追及権だ。長さを測るためにはメジャーが必要で、重さを測るためには、はかりが必要とされる。神を測る道具は、その方が神様である父、御子、御霊なのかを通じて知ることができる。父として人間の救いを計画され、御子としてそれを実践し完成して、その恵みを個人に適用させる霊の作用がある時、真の神の価値を認めることができる。

どんな宗教の神であろうと、その神が真の神ならば、必ず3つの条件をそろえていなければならない。父としての神、子としての神、御霊としての神だ。その時、この神の完全さを味わうようになる。ところで、現実に大部分の神の概念は、足りない観念の上の神であったり、評価できない絶対の神で無条件に信仰を告白しなければならない絶対的相手の場合が多い。それで、人々は自分が熱心に学んだ教育や

科学的常識と規律を捨ててしまい、無条件に信じれば良いという迷信や狂ったような信仰の場所に留まっている。もしかして、神を探している人がいるならば、その人は必ず、神は一方的ではなく人格的でなければならず、そして、彼のための盲信を要求するのではなく、正確な根拠を持った価値を与えられる神でなければならない。その時、神ははじめて人間が分かり、その問題の解決者であることが認められるようになるのだ。

ソクラテスは偉大な哲学者であり、神ではない。孔子もまた大きな教えをくれた師匠だが、神ではない。マホメットの教えは驚くべきものだが、神の位置に立てないのだ。真の神は滅びる人間を救うために、そのからだをささげて、血を流して、そのいのちを豊かにさせる出会いがある、ただ1人の神、すなわち創造主なる神様である。その方は信じられる存在なので信じるのではなく、信じられない存在なので信仰でその方を発見するのだ。もしかして、神に仕えている人がいるならば、それが父なのか、御子なのか、御霊なのかを尋ねれば良い。そのように測れない含有量が分からない神に従えば、問題解決でなく、問題に苦しみ加わって、もっと苦しめられるようになる。少しだけでも、自分の神様を見つけてみようではないか。

文\_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

\* 相談したい方はこちらまで連絡してください